

科目名	マテリアル研究		Subject	Materials Research	
サブタイトル	美術作品に用いられる各種素材（マテリアル）の特質の研究、およびさまざまな素材による作品制作。				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
1 年	前期	必修			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間			
ゲストスピーカー招聘回		なし	◎		
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto@skycampus.jp	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	×				
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。				

科目の概要																	
現代の美術作品には、実にさまざまな素材（マテリアル）が使われます。この授業では作品の制作に用いられる各種素材の特質を研究します。平面作品をはじめ立体作品、また間接技法である版画も制作し、それぞれの素材や技法による違いを学び幅広い表現方法による制作を体験します。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		-		○							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
美容芸術		さまざまな材料や技法の特性を理解し、幅広い表現方法を用いて作品制作することができる。また、平面作品や立体作品において自分でテーマを設定し目標をもって制作することによって、独自性のある作品を創造することができる。															
教科書・教材																	
教科書		なし															
参考文献		画材大全/美術出版社															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
-		-		10%		-		-		10%		80%		-		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
個別に実地指導を行います。																	
履修上の条件・注意																	
時間外学習としては予習復習に限らず、美術館での作品鑑賞およびテレビやネットでの美術作品閲覧の時間も含む。 また、学苑祭では作品展示を行い、自作を客観的に評価するとともに鑑賞者とコミュニケーションを取り作品制作につなげる。																	
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	さまざまな作品制作の材料や技法があることを知り、説明することができる。	復習：画集やネットを見て美術材料や技法について調べる。	240 分
第 2 回	版画作品制作① 技法解説	凸版、凹版、平版などの版画技法を知り、解説することができる。	凸版、凹版、平版などのさまざまな版画技法について調べる。	240 分
第 3 回	版画作品制作② 下絵描写（ドライポイント）	銅版画のドライポイントに適した下絵を描くことができる。	前回の続き	240 分
第 4 回	版画作品制作③ 版の作成（ドライポイント）	銅板にニードルで画面を作成することができる。	ドライポイントの表現について調べる。	240 分
第 5 回	版画作品制作④ 版の完成（ドライポイント）	銅板にニードルで画面全体を意識して完成することができる。	前回の続き	240 分
第 6 回	版画作品制作⑤ プレス刷りの完成	完成した版を、インクとプレス機で刷ることができる。	さまざまな銅版画の表現について調べる。	240 分
第 7 回	針金と毛糸による立体作品制作① 作品紹介および解説	材料（針金、毛糸等）の特質やミクストメディアの効果を知り、説明することができる。	復習：画集やネットを見て針金や毛糸の特性について調べる。	240 分
第 8 回	針金と毛糸による立体作品制作② 材料研究	材料の特質や効果を利用することができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	針金と毛糸による立体作品制作③ 構造制作	材料の特質や効果を活かして構造を組み立てることができる。	画集やネットを見てミクストメディアによる立体作品の構造について調べる。	240 分
第 10 回	針金と毛糸による立体作品制作④ 細部制作	材料の特質や効果を活かして作品の細部を制作することができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	針金と毛糸による立体作品制作⑤ 全体のバランス	材料の特質や効果を活かして作品全体のバランスを確認することができる。	画集やネットを見てミクストメディアによる立体作品の細部の表現やバランスについて調べる。	240 分
第 12 回	針金と毛糸による立体作品制作⑥ 作品完成	材料の特質や効果を活かして作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	切り絵制作① 切り絵作品の紹介および解説	切り絵の技法や特質を知り、説明することができる。	画集やネットを見て切り絵の技法について調べる。	240 分
第 14 回	切り絵制作② モチーフ（人物）選定	切り絵の特質や効果を利用して、人物をテーマとして作成することができる。	切り絵のモチーフとなる対象人物について調べる。	240 分
第 15 回	切り絵制作③ 全体制作	切り絵の特質や効果を利用して画面全体を意識して制作することができる。	前回の続き	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 6 回	切り絵制作④ 完成	切り絵の特質や効果を利用して作品を表現することができる。	画集やネットを見て切り絵の作品について調べる。	240 分
第 1 7 回	ボックスアート① アッサンブラージュについて	身近な素材を集積したアッサンブラージュ作品について説明することができる。	画集やネットを見てアッサンブラージュについて調べる。	240 分
第 1 8 回	ボックスアート② テーマ選定（2つのボックス）	対になる2つのボックスについてテーマを選定することができる。	前回の続き	240 分
第 1 9 回	ボックスアート③ 土台制作	対になる2つのボックスのテーマに適した土台を作成することができる。	画集やネットを見てボックスアートについて調べる。	240 分
第 2 0 回	ボックスアート④ 素材選定	それぞれのテーマに適した素材を選定することができる。	前回の続き	240 分
第 2 1 回	ボックスアート⑤ 素材接着	選定した素材を効果的に接着することができる。	画集やネットを見てボックスアートに使用する素材について調べる。	240 分
第 2 2 回	ボックスアート⑥ 作品完成	ボックスを生かし、対になる2つのテーマを効果的に表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 3 回	仮面作品制作① 種類	仮面の多様性を知り、特徴を説明することができる。	画集やネットを見てさまざまな仮面作品について調べる。	240 分
第 2 4 回	仮面作品制作② 土台	仮面の土台を制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 5 回	仮面作品制作③ 全体の形	イメージを意識して仮面の形を作成することができる。	画集やネットを見て仮面作品の形や彩色について調べる。	240 分
第 2 6 回	仮面作品制作④ 細部	イメージを意識して仮面の細部まで作成することができる。	前回の続き	240 分
第 2 7 回	仮面作品制作⑤ 彩色	イメージを意識して効果的に彩色することができる。	調べた仮面作品と自分の作品を比較して、素材の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 2 8 回	仮面作品制作⑤ 作品完成	仮面という素材を生かして作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	プレゼンテーション①	マテリアル研究で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し解説できる。	マテリアル研究で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション②	マテリアル研究で制作した作品の発表を基に他者の作品について意見を述べ、批評することができる。	マテリアル研究で制作した作品と他の作品を比較して研究する	240 分